

## 特別名勝・国指定史跡 岡山後楽園

### ～史跡等保存整備に伴う発掘調査～

岡山後楽園内を流れる水は南東端にある花交の池から旭川へ排水される。本書はこの花交の池に設けられた排水樋門の発掘調査報告書である。今から300年ほど前の江戸時代、元禄年間に作られたと考えられる木製の排水管がほぼ完全な姿で掘り出された。排水管は全長が18m、幅は0.6mを測り、底板・側板・蓋板を箱形に組み合わせたもので、板材の接合にあたっては細かな細工がなされていた。排水管の設置にあたっては入念な基礎工事がなされ、排水管の埋設と築堤作業についても丁寧な仕事が見て取れる。当時の木材加工技術や土木技術を知るための資料としてきわめて重要である。

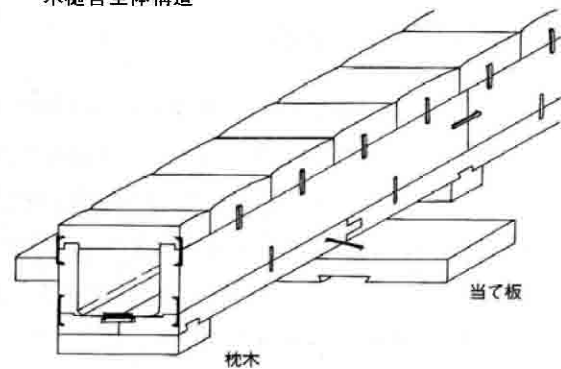
なお、土壌や樹種などの自然科学分析についても興味深い成果が報告されている。

(A4版 本文60頁 白黒図版11頁 カラー図版11頁)



花交の池落樋木樋管全景（北から）

木樋管全体構造



発掘調査出土国産磁器・陶器